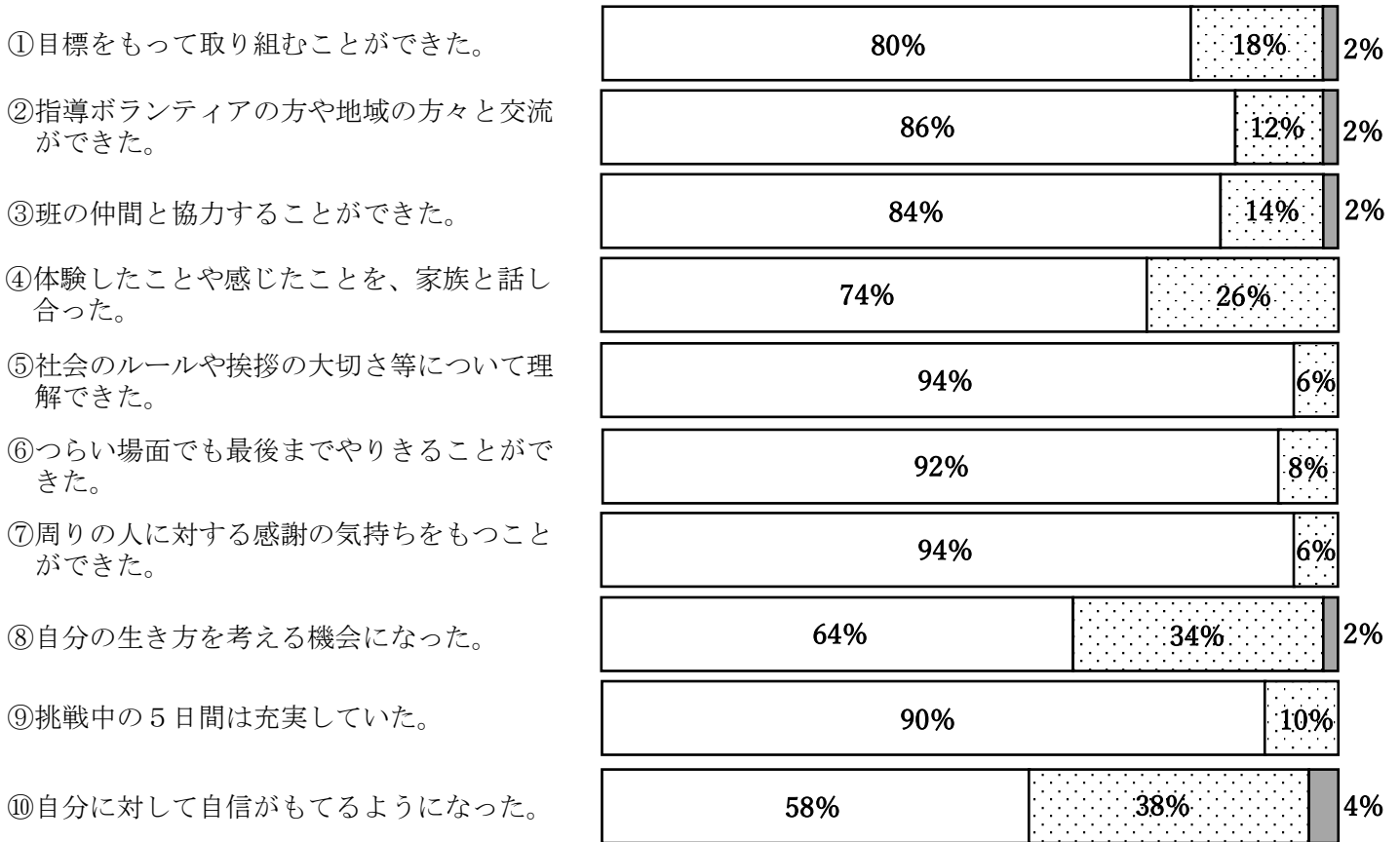


# 令和5年度 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」アンケート結果

## (1)生徒へのアンケート調査

□ そう思う    ▨ 少しそう思う    ■ あまり思わない    ▩ 思わない

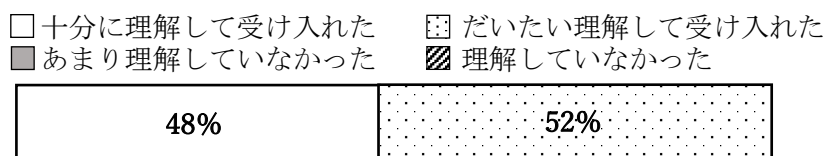


### ⑪体験活動を通してどのようなことを学びましたか。 ※5つまで選択

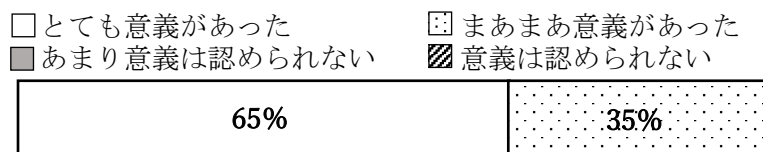
項目	回答割合 (回答者数)
礼儀 (挨拶) の大切さ	100% (50名)
ルールや時間を守ること	74% (37名)
感謝や敬意	52% (26名)
主体性や積極性	28% (14名)
協調性や心遣い	30% (15名)
コミュニケーション能力	62% (31名)
責任感や努力、我慢強さ	28% (14名)
適切な言葉遣い	40% (20名)
専門的な知識や技能	18% (9名)
アイデアや創意工夫	8% (4名)
集中力	20% (10名)
勤労の喜び	12% (6名)
計画性や準備力	12% (6名)
社会の厳しさや勤労の苦労	16% (8名)

## (2)事業所へのアンケート結果

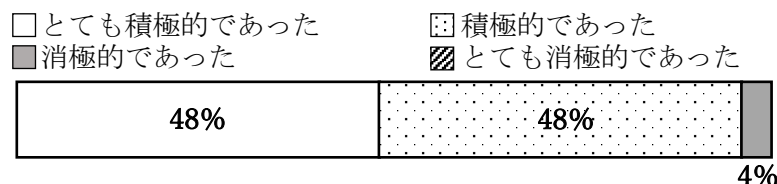
①「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の趣旨やねらいを理解して生徒を受け入れていただけましたか。



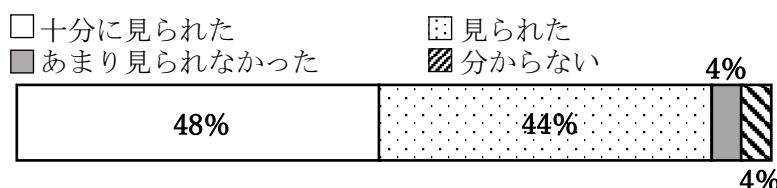
②生徒の受け入れ場は、事業所にとって意義がありましたか。



③貴事業所で活動させていただいた生徒の取組はどうでしたか。

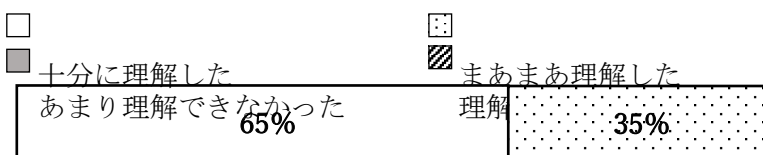


④この活動を通じて、生徒たちには好ましい変化が見られましたか。

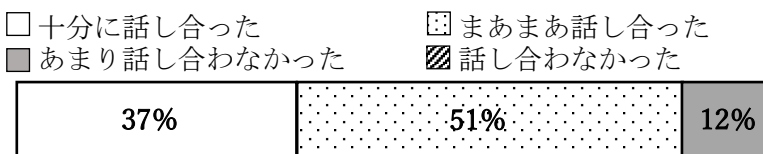


## (3)保護者へのアンケート結果

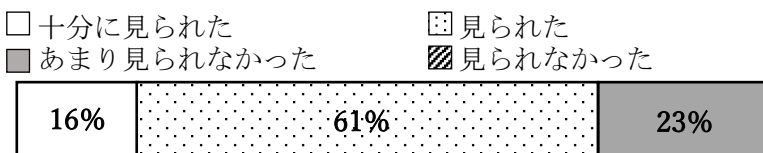
①「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の趣旨について理解されましたか。



②活動中、お子さまと体験活動の内容や感じたこと等を話し合われましたか。



③体験活動を通して、お子さまには好ましい変化が見られましたか。



\*\*\*\*\*

たくさんのご意見ありがとうございました。

進学を本格的に意識する前の中学2年生の時期に、普段安心して居られる家庭や学校を離れ、職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することは、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方について考え、たくましく生き抜く力を身に付けるきっかけにもなると考えられます。学校、家庭、そして地域が、城端の子供たちの成長を考え、力を合わせることに意味があると感じます。

いろいろなお考えを聞かせていただきましたので、来年度以降、この活動がより充実したものになるよう努力していきたいと思っております。ご理解とご協力、本当にありがとうございました。